

輝く未来 開こう としま新時代

# 豊島区

## Toshima City 90th Anniversary Report

豊島区制施行90周年事業報告書



All  
TOSHIMA

International  
City of  
Arts & Culture



TOSHIMA  
SDGs Action



90th  
Anniversary



Friendship  
Partnership

100TH SHIMAZU

# 未来に 希望をつなぐ

オールとしまの体制によって「人」や「企業」の絆が  
広がり響き合う姿を区制施行90周年のレガシーとし、  
次なる100周年に向けた新たな発展を導く推進力とすることで、  
「誰一人取り残さない、誰もが主役になれるまち」の実現を  
目指していきます。





## Contents

- 03 ご挨拶
- 07 都市消滅の危機から  
持続発展都市への歩み
- 09 豊島区制施行90周年事業概要
- 10 フォトギャラリー
- 26 事業報告
- 27 01-部会
- 39 02-シンボル事業
- 49 03-パートナーシップ事業
- 55 04-フレンドシップ事業
- 59 05-全庁機運醸成事業
- 63 資料編
- 64 01-広報
- 67 02-実施体制・会議実績
- 70 03-オープニング・クロージング
- 72 04-名簿

感謝



## 豊島区長 高野 之夫

豊島区生まれ。豊島区で育ち、豊島区議会議員、東京都議会議員を経て、平成11(1999)年に区長に就任。6期、約24年にわたって区長の職を務めた。財政赤字や消滅可能性都市の指摘など重大な課題を抱えながらも、「国際アート・カルチャー都市構想～まち全体が舞台の誰もが主役になれる劇場都市～」を掲げ、豊島区ならではの「文化」を基軸としたまちづくりに尽力した。

本誌を制作中の、令和5年2月9日に高野之夫区長が逝去されました。  
誰よりも豊島区を愛し、区長就任から24年間、人生のすべてを豊島区の発展に捧げた生涯でした。  
常に区民に寄り添う、柔らかな笑顔が印象的でした。  
苦しい時も、未来に希望を持ち、豊島区の発展のために情熱を注ぎました。

池袋の怖い、汚い、暗いイメージを払しょくしたいと強く思い、  
高野区長は幾多のピンチをチャンスに変えてきました。  
財政破綻の危機を乗り越え、消滅可能性都市の指摘があっても、  
世界的なコロナショックにも負けずに常に前を向き続けてきたように、  
この先、どのような苦難に直面しても、私たちはこれからも高野区長の掲げた文化を基軸とした  
価値あるまちづくりをぶれずに進めていきます。

『過去から学び、今日を生き、未来へ希望をつなぐ』ことが、  
今を生きる中継ランナーとしての私たちの役割です。

これまで高野区長が築いてきた、「オールとしま」によるまちづくりのバトンを、  
次なる世代へつなぎ、100周年、その先の未来に向けて、  
一步一步確実に歩みを進めていきます。

高野区長が最後に残した、『区民のための、区民によるまちづくり』  
これからの豊島区は、住む人、働く人、学ぶ人すべてが豊島区民として、  
みんなが主役となる豊島区を実現します。

どこにもないオンリーワンの豊島区を目指して。

ご挨拶

# 豊島区制施行 90周年事業を終えて

高野区長から引き継いだ「区民の手による、  
区民のためのまちづくり」を推進していきたい。

渡邊 裕之 実行委員長

90周年の実行委員会では、区民実行委員会は近江正典幹事長を中心に、企業実行委員会は合場直人幹事長を中心に、大変多くの皆様のお力をお借りしながら、今までにないオールとしまの形で、区民の皆様、企業の皆様の自主事業を実施いただきました。今回の90周年では、新たな取組みとして、ぜひ企業実行委員会を作りたいと考えていました。この取組みを通してネットワークを構築できたことは大きな成果でした。SDGsを共通目的の一つとして、企業が持っているノウハウを共有することで、皆で地域の課題を解決していくことができることを肌で感じました。高野区長から病床で最後に言われたのは、「区民の手による、区民のためのまちづくり」を進めてほしいという言葉でした。自分たちのためだけでなく、地域貢献の意識を持ってまちづくりに参加してもらえよう、90周年事業をきっかけにできたつながりを活かして今後も多くの人を巻き込んでいきたいです。



「オールとしま」が花開いた90周年事業。  
次なる100周年に向けてSDGs未来都市の実現を目指す。

木下 広 豊島区議会議長

90周年である今年は、本当に多くの事業が実施されました。1年間で開催された事業は、約400、参加者数は約400万人という状況であったと伺っております。大変多くの皆様によって創り上げられた、まさに、高野区長が一貫して取り組んできた『オールとしま』が花開いた1年であると感じております。670名を超える実行委員会、区政史上初となる「企業実行委員会」の設置、そして70を超える部会活動と、他には類を見ない規模での展開でした。区制施行100周年に向けた第一歩を、このように盛大に終えることができましたことは、区議会を代表する立場としても大変喜ばしいことです。豊島区議会は、区民の代表として、皆様方の声に耳を傾け、区民福祉の向上と「誰一人取り残さない」SDGs未来都市の実現に向けて、これからも全力を挙げて取り組んでまいります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



## 企業、区民、行政が一体となった 「オールとしま」によるまちづくりに期待。

近江 正典 区民実行委員会幹事長

90周年区民実行委員会では、新しい取り組みとして、芸術文化、産業、教育、福祉、子育て、環境など、あらゆる分野において70もの部会が設置され、幹事さんのリーダーシップのもと、多くの区民の皆様が主体的に活動をしてくださいました。また、人と人との新しい交流が生まれ、それが90周年の事業として、さまざまな色の花として咲きほこり、非常にうれしく、感動しています。また、今回の90周年では、これまでの周年事業にはなかった企業実行委員会という新しい花が咲きました。高野区長がこれまでずっと言われていたのは、住む人、働く人、学ぶ人が皆豊島区民なのだということでした。今回の90周年をきっかけに、本当の意味での「オールとしま」が実現できるよう、住む人、働く人、学ぶ人が一体となってまちづくりに参加し、次の100周年に向けてさらに新しいかたちでの連携が生まれていくことを期待しています。



## 90周年事業は区切りでなくスタート。 周年事業で得た財産を皆で受け継いでいきたい。

合場 直人 企業実行委員会幹事長

90周年事業を機に区民・行政・企業による「三位一体」の体制が強まり、「みんなが主役のまち」の実践につながりました。企業実行委員会は、各企業が経営資源を持ち寄って盛り上げたユニークな取り組みでした。企業においては、自社の成長には地域の発展や協業がなくてはならないと思いますが、この90周年を機に、企業同士の連携を深められたこと、受け身でなく自分たちに何ができるかを考えられたことは特に大きな財産となりました。まちづくりとは、その地域ならではのものだと思います。これまで豊島区が長い間積み重ねてきた歩みに、この90周年の大きな財産を重ね合わせ、豊島区ならではのまちづくりを発展させられればと思います。豊島区へ誇りと愛着を抱く仲間の輪を広げながら、皆で100周年に向けて歩んでいきたいと思っています。



## 未来への希望を紡いだ周年事業。 豊島区らしい「公民協働」が実を結んだ。

城所 信英 区民実行委員会幹事会事務局長

SDGsの17色に彩られたソメイヨシノの花弁が、笑顔をあしらった「90」の数字を取り囲む「豊島区制90周年」のシンボルマーク。そのもとの一年間、豊島区の90歳を祝いながら、本当に多くの区民の皆様とともに100周年の未来につながる希望を紡いでまいりました。高野区長とともにゴールを踏めなかったことは残念でありませんが、区民実行委員会の各部会の委員の皆様の大活躍とご尽力により、事務局長を仰せつかった私の非力を補っていただき、行政と住民との距離が近い豊島区らしい「公民協働」で、驚くほど多様な事業を展開することができました。厚く深く感謝を捧げる次第です。皆様、誠にありがとうございました。ここで培った成果を、次世代の若者たちが担う未来へと繋いでまいりましょう。



都市消滅の危機から持続発展都市への歩み

# 文化による経済の好循環を 生み出すまちづくり

豊島区制施行70周年記念式典  
平成14年区功労者表彰式



区制施行70周年記念式典



区内大学との連携・協働に関する  
包括協定締結



文化創造都市宣言記念式典



セーフコミュニティ国際認証取得



文化庁長官表彰式

## 国際アート・カルチャー都市 ～4つの柱で持続発展する都市へ～

子どもと女性に  
やさしいまちづくり

地方との共生

高齢化への対応

日本の推進力

### 持続発展都市へ

- 豊島区国際アート・カルチャー都市構想策定  
(2015年3月)



2014 消滅可能性都市の指摘

虐待と暴力のないまちづくり宣言

1999

財政破綻  
の危機



2002

区制施行70周年

2005

文化創造都市宣言

2006

自治基本条例施行、地域区民ひろば本格実施

2007

区内大学との連携・協働に関する包括協定締結

2008  
リーマンショック

2009

文化庁長官表彰受賞

2011  
東日本大震災

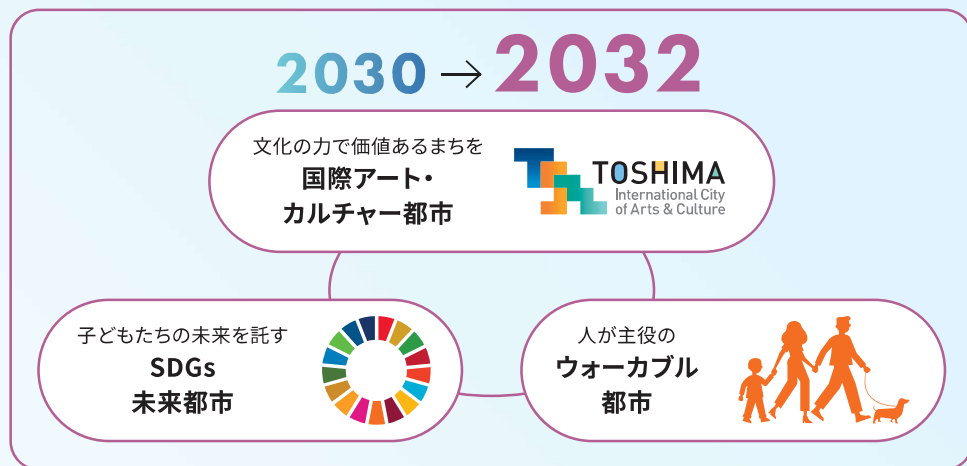
2012

区制施行80周年  
セーフコミュニティ  
国際認証取得

2013



# 3つのコンセプトで豊島新時代を切り拓く!



## 東京初のSDGsダブル選定、基礎自治体初の文化記念日

- SDGs未来都市、自治体SDGsモデル事業ダブル選定
- としまSDGs都市宣言 ● としま文化の日条例制定

## 世界へ大きく躍進、国家的文化プロジェクト

- 東アジア文化都市2019豊島開催
- 23のまちづくり記念事業実施



日経×woman/日本経済新聞社  
**共働き子育てしやすい街  
ランキング2022 第1位**

日経グローバル  
**全国市区SDGs先進度  
ランキング 総合9位**



# 豊島区制施行90周年事業概要

豊島区は、昭和7(1932)年10月1日に東京市郡合併により、近郊82の町村が東京市に編入され、新たに20区が設けられた際、旧巢鴨町・西巢鴨町・高田町・長崎町の四町を合併して発足しました。

90周年にあたる本年は、次の10年に向けての新たなスタートの年と位置付け、豊島区が大きく飛躍する年にするために、90周年を記念した様々な事業を展開しました。

## 豊島区制施行90周年記念ロゴ

区民の皆様から、  
合計4098票の投票をいただきました。

【投票期間】 令和4年2月25日から3月15日まで

【投票方法】 区ホームページ、区施設等



### ロゴマーク解説

100周年に向けて「区民一人ひとりが笑顔で暮らせるまち」であることを、「90」にあしらった表情で表しています。区木「ソメイヨシノ」の花びらをモチーフに、SDGsカラー17色で表現しています。

## コンセプト

キャッチフレーズ

# 輝く未来 開こう としま新時代

次なる「としま100周年」に向けて、区民の皆さんとともに夢や希望を描き、未来を創る“人”を育てることで、「誰もが主役になれる価値あるまち」を実現します。

## 事業構造

### 取組1

区民や企業の参加による実行委員会で  
事業全体を推進

#### 特別アドバイザー

野村萬氏 / 隈研吾氏 / 小林研一郎氏 / 近藤誠一氏

#### アドバイザー

### 区制施行90周年実行委員会

#### 区民実行委員会

顧問

幹事長

委員

部会 部会 部会

<70の部会>

#### 企業実行委員会

顧問

幹事長

委員

### 取組2

3層構造の事業により  
オールとしまで機運を醸成

シンボル事業  
(区主催事業)

パートナーシップ事業  
(補助事業)

フレンドシップ事業  
(冠事業)

### 次なるゴール

豊島新時代の集大成

# 区制施行 100周年

【実施事業】314事業、【参加者数】約412万人